

歴史(室町時代⑤・戦国の始まり編)

① 年、第8代将軍② のあとつぎ問題をめぐって、③ 氏と④ 氏が対立し、以後11年にわたる⑤ がおき、これ以後の時代を⑥ 時代という。この頃、実力のあるものが、上の身分の者に打ち勝つ⑦ の風潮が広がり、各地に⑧ が登場するようになった。⑧ は独自の⑨ を定めて新しい政治を行い、交通の便のよい平地に城を築き、商工業者を呼び⑩ をつくった。一方で、1485年には、山城(京都府)南部で、武士と農民が一体となって守護大名の畠山氏を追いはらう⑪ がおき、1488年には、加賀(石川県)で、浄土真宗の信仰で結びついた武士や農民が守護大名の富樫氏をたおす⑫ がおきた。